
P A 会



幹事長 本 多 一 郎

1. はじめに

P A 会は、他の 4 会派と共に日本弁理士クラブを構成しており、弁理士会（現日本弁理士会）の役員選挙が創設された大正11年に選挙母体の一つとして設立された団体であります。設立当時に Patent Attorneys の頭文字を採って命名されました。現在ではおよそ650名の会員を擁して、会員相互の親睦、研鑽を図りつつ、日本弁理士会の会務運営に協力する等、多岐に亘り活動しています。

2. 運営形態

会の運営は幹事会によって行われています。幹事会は、幹事長、幹事長代行、副幹事長、各作業部会担当幹事、常任幹事、幹事相談役および相談役によって構成されています。また、P A 会の将来を担う若手会員に幹事会の雰囲気を知ってもらうため、各作業部会の部長にも幹事会に出席してもらっています。常設の作業部会は、人事、政策、会報、企画 1, 2、庶務 1 ~ 3、研修、中部、協議、会計の12部会あり、これらの作業部会が幹事会との連絡をとりながら行事や研修の企画・実施、日本弁理士会の各委員会への委員推薦、政策の検討、慶弔連絡、財政管理などを行っています。

なお、当会では個々の会員の独自の詳細なデータベースに基づき、幹事会メンバーの選任や委員・役員推薦等の際には適切な人材を公平に選出するように心がけています。

3. 行事

公式的な行事としては、新年会兼総会、役員選挙当選者祝賀会、受章・褒賞者祝賀会、弁理士試

験合格者祝賀会、忘年会等があります。また、毎年開催している弁理士試験論文合格者対象の「口述練習会」では、本年度は73名もの参加がありました。

その他にも、会員同士の親睦を図るべく各種イベントを企画、開催しております。例えば、本年度は7月には納涼バスツアーと称して夕暮れのはとバスに乗り込み、品川プリンスホテルでバイキングの夕食を堪能した後、東京の新名所六本木ヒルズで、ロマンチックに夜景を楽しむという催しを実施致しました。また、9月下旬の旅行会には、ご家族にも多数参加して頂き、長野県の「上諏訪」にて講演会、ゴルフ、観光等を通じて親交を深めて参りました。ご当地は、当会の中中部会会員にも参加して頂くことができ、広く親睦を図ることができました。

4. 研修

新人研修、一般研修、外国研修の3本の柱を軸として、主に、それぞれ第一線で活躍しておられるP A 会会員の方に講師をお願いし、数多くの各種研修を実施しております。例えば、新人研修は、機械、化学、電気等の分野別に演習形式にて実施しております。また、当会の特色として、会員の幅広い海外実務経験および現地代理人との交流経験などを活かして、外国人講師による海外実務研修や勉強会等も充実した内容で行なっています

5. 同好会

当会には、ゴルフ、テニス、ボーリング、マージャン、ソフトボール、スキー、囲碁、アウトド

ア、スクーバダイビング等の各種同好会が設けられており、会員同士による親交が深められています。今後も、会員の声に耳を傾けつつ、さまざまな種類の同好会を新設し、会員間の一層の親睦を図っていかねばと思っております。

6. ホームページ

PA会のホームページからは、幹事会報告、同好会報告、各種イベントの告知を積極的に行っております。また、各種イベントでの様子はスナップ写真館として速やかにアップされております。是非、下記PA会ホームページへアクセスして頂ければと思います。

<http://www.pa-kai.gr.jp>



夏のイベント（六本木ヒルズツアー）

7. グリーンPA

グリーンPAとは、登録5年以内の会員の総称です。グリーンPAは、弁理士としてフレッシュな意見を持った世代が中心となっていることから、各行事への参加費の負担を軽減して積極的にPA会の色々な行事に参加してもらい、広く先輩会員の方々と交流してもらうことを目的としております。

8. おわりに

私たち弁理士は、今、申すまでもなく正に大きな変革期に直面しており、日弁各会派は今こそ結束して事に当たり、弁理士という職業がいつまでも魅力的で日本の産業の発展になくはならないものであり続けるように、最大限の努力を払うときであります。そのような状況下において、PA会、ひいては日弁として何ができるのかということをおぼろげに考えつつ、本年度、一幹事長として最後まで微力を尽くす所存であります。



スキー旅行会（尾瀬岩鞍スキーツアー）